

市民活動団体各地で活動！

親子ひろばを開設

気仙地域子育て支援ネットワークわ〜い



高田町内

高田町駅通りで行って来た「おやこ広場・きらりんきっず」が津波で跡形もなくなった。津波の当日は親子ひろばが休みの日であったため、スタッフは無事であった。

避難所暮らしの親子のストレス解消もあり、早期再開に努めた結果、関係機関のご理解を得て、4月14日から高田第1中の図書室に「きらりんきっず」を開設した。（東海新報より）

けせん・まちの保健室

サンリア正面内玄関で健康相談

4月16日午前10時～午後2時まで、ショッピングセンターサンリアの正面内玄関で「健康相談」を行った。利用者は19人、被災当時のことや避難先の生活等の話が多く、話を聴いてもらえてよかったと帰られた。血圧は比較的安定している人が多かった。

腎移植バンクからのティッシュを被災された皆様へ配布した。また、水害時の消毒法や液の作り方、災害時の血圧等の資料も配布した。

「炊き出し」18日は総合福祉センター、
19日は綾姫ホール（三陸町綾里）

4月11日から炊き出しを行って来た気仙市民復興連絡会は、18日（月）は大船渡市総合福祉センターにて、ボランティアセンター登録しボランティア活動に参加している人に、より元気になって頂くために、炊き出しを16日に続いて行った。18日の炊き出しには、愛知ネット、もさばロハス、オープンハート、美杉会大船渡、夢ネット大船渡でした。



18日の市総合福祉センターでの炊き出し

また、19日からは三陸町綾里の綾姫ホールに避難している方々に、温かい昼食（カレーライス）約100食を提供する。

なお、16日まで福岡県から来て手伝った原屋根工業さんの紹介により、九州の久留米市の大至産業有限会社（代表田川敬一郎）から「長崎チャンポン」600食が贈られ、順次避難者へ提供する予定です。

住田町農林会館前に設置のトレーラーハウス

NPO法人愛知ネットの活動拠点（気仙支援のため）

